

第 10 期事業報告

(2021 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日)

1. チーム成績の概況

36 勝 18 敗 (西地区 2 位)

3 季ぶりにプレーオフ進出
セミファイナルで敗退

2. 経営成績の概況

当期売上高 3 億 4,569 万円

(※前期比 13.6%増、4,144 万円増)

営業利益 △153,048 千円

経常利益 △146,596 千円

当期純利益 △147,972 千円

【売上高】

入場料収入	39.1%増
パートナー企業協賛収入	5.8%増
その他収入	74.9%増
イベント収入	△46.6%増
物販収入	△5.6%増
ユース・スクール収入	△4.8%増

【売上原価】

試合関連費	49.1%増
トップチーム人件費	94.9%増
トップチーム運営費	42.0%増

【一般管理費】

ファンクラブ関連費	296.7%増
(ファンクラブ収入	11.7%増)

3. セグメント別売上高の概況

パートナー事業収入 1億4,753万円
(※前期比 5.8%増、814万円増)

入場料収入 1億271万円
(※前期比 39.1%増、2,888万円)

物販収入 2,010万円
(※前期比 Δ 5.6%、 Δ 120万円)

リーグ配分金 2,447万円
(※前期比 Δ 22.5%、 Δ 710万円)

VG チア収入 884万円
休眠預金事業 697万円

4. ホームゲーム来場者数の概況

観客動員数 29,205名
(1試合平均1,168名、※前年比98.5%)
B2リーグ全体第2位

5. 財政状態及びキャッシュフローの概況

現金及び預金資金 5,787万円
株主資本 Δ 6,617万円

6. 第 11 期の展望と戦略

【TOP チーム】

遠山向人 AC が HC に就任 13 選手中 10 人が新メンバー

本村・磯野・ローソンが残留。本村がキャプテンに。
経験豊富でリーダーシップもある田渡・谷口・菅澤を始め、
昨季 B2 MVP のウッドベリーなどが加入。
ベック氏が指導者養成コーチに就任し、
HC 兼 GM の権力集中構造を解消。
ビデオコーディネーター、スキルコーチを新設。
性格やバスケットに取り組む姿勢、
アグレッシブなプレーの選手が集まり、B1 昇格を目指す。

【U18】

当期 4 月選手 9 名でスタート
今後追加トライアウトを行い強化を進める。

【パートナー事業部】

- ① 既存県内スポンサー様 継続率 84.8% (金額基準)
- ② 代理店営業開始

【マーケティング事業部】

- ① 試合開始告知強化
(TVCM、会場周辺ポスティング実施)
- ② スペシャルイベント企画 (1 月実施予定)

7. 新規事業の展望

【JR との包括連携協定締結】

株式会社 JR 熊本シティ様
九州旅客鉄道株式会社熊本支社様
と7月に協定締結。

8月3on3のイベント開催・9月出陣式開催
ホームゲーム開催日に
JR スタッフユニホーム着用・観戦者へ割引特典など

【高森町との包括連携協定書締結】

当期4月から高森町地域おこし協力隊にスタッフを派遣。
阿蘇地区でのU15発足・運営に向けて活動開始

【SDGs パートナーズの募集】

熊本県&九州の課題解決に特化した
スポンサー枠（3社限定）を10月末から募集開始

【V G】

当期新設
高い評価を受け、V Gが講師を務めるスクールも生徒増加

8. 第10期経営計画と中長期計画へ向けて

第11期売上高目標 6億2,965万円

パートナー事業収入目標 3億3,673万円

観客動員数目標 1試合2,000名

2026年「新B1」新設

2024年10月に「新B1」参入に向けて審査

第1基準 売上高12億円、入場者数4,000名

第2基準 売上高9億円、入場者数4,000名

〃 売上高12億円、入場者数3,000名

+

5,000名以上収容可能なアリーナの
建設着工もしくは確かな計画